



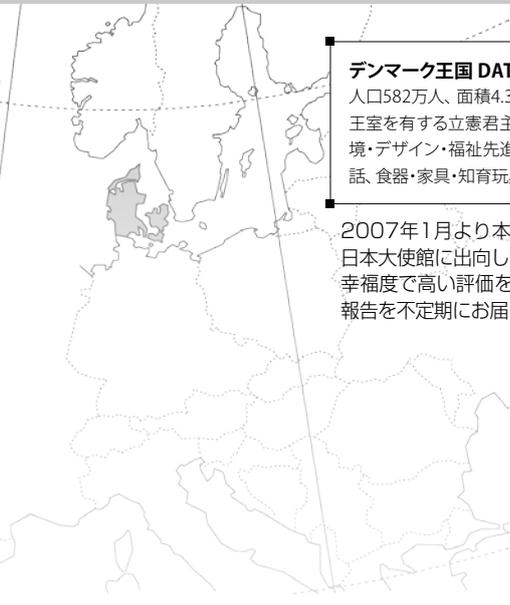
LETTER FROM COPENHAGEN
コペンハーゲン通信 PART VII
4



デンマーク王国 DATA

人口582万人、面積4.3万平方キロ(≒九州)、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。

2007年1月より本会事務局職員が在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度が高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。



“Keep Distance”サイン。スーパーマーケット「Irma」にて



整然と並ぶ人々。他スーパーマーケットにて



小林 功人

在デンマーク日本大使館二等書記官
 (経済同友会事務局より出向中)

**新型コロナウイルス、
 「足るを知る」が根付き落ち着いた暮らし**

この原稿を執筆している4月上旬、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日本では緊急事態宣言が発出され、読者の皆さまも不便で不安な日々をお過ごしのことと存じます。欧州では、2月にイタリア北部で感染が急拡大して以降、瞬く間に欧州全土に波及しました。デンマークでも3月14日から国境封鎖、17日からレストランなどの閉鎖といった各種対策が実施されています。約1カ月を経過した今、これまでの経過と今のデンマークの様子をご紹介します。

まず、感染状況ですが、デンマーク本国の感染者数は6,318人、うち死亡者285人(4月14日時点)と、人口比で見ると日本よりもはるかに感染率は高い状況です。ただ、一定数の感染拡大は依然として続くものの、現時点でピークは過ぎたと評価されています。

次に、これまで実施されてきた感染拡大防止策(4月6日時点)はというと、次の通りいわゆるロックダウン策が採用されています。○国境封鎖(外国人の入国制限含む。3月14日～5月10日)○教育機関、教会、映画館、大型ショッピングセンター、バー、レストランなどの閉鎖、10人を超える集会の禁止(3月17日～5月10日)○公務員、民間企業の在宅勤務要請(3月17日～当面継続)○大規模集会、

フェスティバルなどの大型行事は8月末まで禁止。一方、今後、急激な感染拡大がないという条件の下、4月15日から保育園、幼稚園、小学校5年生までの学校を再開する予定となっております。

上記に加え、経済対策にも余念がありません。法人税および付加価値税の納付期限の猶予、大規模イベント中止に伴う主催者側への補償(3月10日)、勤務時間の短縮を余儀なくされた労働者の給与の失業手当による補填^{ほてん}など(3月12日)、労働者救済措置(一定の条件の下、従業員の一時解雇を迫られている企業に対して、対象従業員の賃金を政府が補償。3月15日)、一定の条件に基づく固定費を政府が補償、自営業者の損失補償など(3月18日)の各種対策が発表されています。

このような危機的な状況でも、デンマーク国民は比較的落ち着いているように感じます。スーパーマーケットでは、フロアに貼られた「Keep Distance」シールに従い整然と並んでいます。また、外出制限がないので、公園などでは個人同士の距離に配慮しつつ多くの国民がランニングをしていますし、私の住む集合住宅でも、自宅のテラスで普段通り寛ぐ家族の姿が見られます。「足るを知る」の精神が根付いているのかもしれませんが。いまだ先行きは不透明なるも、今後もデンマークがどのように社会を再開し、経済を立て直していくのかについて、注視していきたいと思えます。